

今、被災地は

熊本地震から半年

■4■

以来の石橋が多数残された。文化財以外で、二俣橋(1829、30年建造)もその一つで、町指定の重要文化財。しかし熊本地震によって町内では国指定文化財の霊台橋で路面にひび割れができた。他、二俣橋以外の二つの町指定文化財の石橋でも欄干が落下した。

「自他共に認める「石橋好き」で、石橋や農村風景などを楽しむながら歩く「フットパス」の普及を図っている「フットパス研究所」

10月から2月にかけて正午直前の約30分間、橋の影がハートの形に見えることから「恋人の聖地」とも呼ばれる美里町の二俣橋。秋晴れの祝日とな

った10日、佐賀県から来た20代のカップルがいた。「インターネットで見えた画像ほどくっきりしたハートではなかったけれど、見るこ

とができてよかった」

トポジションだった。しかしブルーシートがかけられて立ち入り禁止。佐賀県のカップルも橋のたもとから見るしかなかった。

美里町には江戸時代

崩れた「恋人の聖地」

渡りに船「町道」で復旧

トポジションだった。

被災文化財の復旧で

(同町馬場)の井澤る

様子を見ることになっ

は、国や県指定の場合、50・95%の補助金が出るが、市町村指定の場合には補助制度がない。町教委は町予算で可能な文化財から復旧と井澤さん。

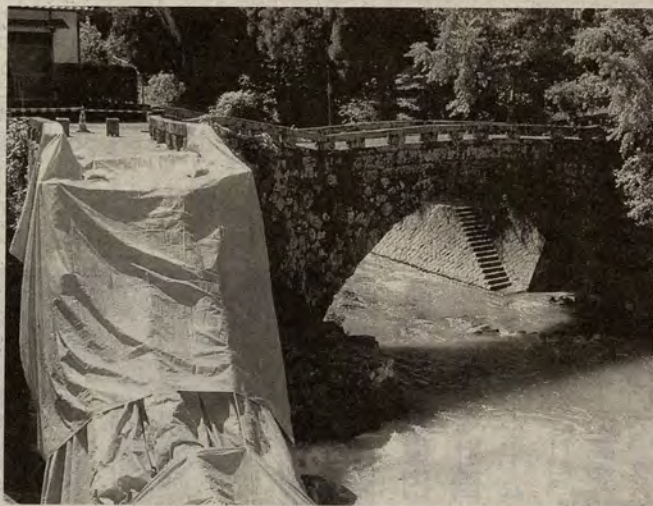
り子代表らが中心になり、義援金を募ろうと動き始めた。「二俣橋の復旧は町全体の復興の象徴ともなりうる」

と井澤さん。

建設課では、文化財修復に際しての留意点を教委に聞き、それを踏まえて年内に着工する予定。来年の梅雨時期までには、少なくとも橋の支持部分を完成させる考えだ。

井澤さんは「石橋を記録しておく必要がある」と話す。県教委によると、熊本地震で被災した文化財は▽国指定・登録98件▽県指定59件▽市町村指定198件——に上る。

【笠井光俊】



右側の橋のアーチ部分に当たる太陽光が何とか「ハート形」に見えている。左側の橋は、熊本地震で半壊し、ブルーシートがかけられている

文化財